



報告を受ける母・明恵さん

母・明恵さんは涙ながらに報告を受け、室内には大きな拍手が沸き起りました。

黒潮町初の関取誕生
千代の海明太郎さん十両へ昇進
黒潮町出身で大相撲力士の千代の海明太郎さん(本名濱町明太郎)が5月30日(水)、新十両への昇進が決定し、黒潮町初の関取となりました。
これまで力士養成員と呼ばれる幕下の力士であった千代の海さんは、同日、両国国技館で行われた日本相撲協会による番付編成会議で、黒潮町初、また、平成20年春場所の土佐豊以来の高知県出身・新十両となりました。
昇進が決定した当日、千代の海さんの実家には家族や町内の関係者らが集まり、千代の海さん本人からの報告を待ちました。待つこと数十分、「十両になることが決定した。これからも頑張るので応援してほしい」と本人から電話がありました。

町民2名が春の叙勲を受章
平成30年春の叙勲で黒潮町在住の倉橋新一さん(瑞宝双光章)と宮川昌弘さん(旭日单光章)が受章しました。
倉橋さんは昭和49年、当時の大方町消防団早咲分団員として入団後、40年にわたり黒潮町の消防防災活動に尽力されてきました。
平成24年に地震津波の新想定が発表された際、黒潮町消防団長だった倉橋さんは当時について、「新想定に言葉が出なかったが、町民の命を地震津波によって失うわけにはいかない、救えない命はない

父・学さんと明恵さんは、「いつも応援してくれた皆さんのおかげ。病氣や怪我をせず、多くの日から愛される力士になってほしい」と話し、集まった約60人の住民らと万歳三唱、互いに喜びを共有しました。
父・学さんと明恵さんは、「いつも応援してくれた皆さんのおかげ。病氣や怪我をせず、多くの日から愛される力士になってほしい」と話し、集まった約60人の住民らと万歳三唱、互いに喜びを共有しました。



喜ぶご両親ら(写真1列目中央)

という思いで団長を務めてきた。団としての40年は長いようで短かったが、今後は、一住民として地域の安心安全に努めていきたい」と話しました。
また、元J.A高知はた組合長の宮川さんは、J.A職員として35年、役員として15年、黒潮町や幡多地域の農業振興に尽力されました。
宮川さんは、「今回の受賞は驚いたが、キュウリの選果機の導入や幡多地域の農協合併など、当時の活動を評価いただいた結果だと思ふ。苦労も多かったが、農業の振興に携われたことは幸せだった。黒潮町は農業が中心のまち。今後は、さらに若い農家が増えていくことを期待したい」と話しました。



宮川昌弘さん



倉橋新一さん(写真右)



アユを放流する園児たち

佐賀保育所園児らアユ放流
不破原地区・伊与木川で5月22日(火)、「佐賀の伊与木川を守る会」が主催する稚アユの放流に佐賀保育所園児らが参加しました。
平成24年より始まった稚アユの放流は今年で6回目となり、体長10cm前後のアユ約2000匹を川に放流しました。
同会の明神照男会長は大きくなるようアユに言葉をかけながら川に泳がすよう園児らに話し、園児らは、アユの入ったバケツを慎重に運び、声をかけながら泳いでいくアユを見送りました。
同会は、地元の住民74人で活動を行っています。明神会長は「子どもたちに自然を大事にする気持ちを持ってもらいたい。今後このような活動で地域に貢献していきたい」と話しました。